

消防指令システムの高度化等に向けた検討会（第10回）  
議事概要

1 日時

令和5年10月18日（水）15：00～17：00

2 場所

Web開催

3 出席者（敬称略、順不同）

【委員】

藤井 威生（座長：電気通信大学）、小室 俊之（秦野市消防本部）、新濱 秀樹（ちば消防共同指令センター）、高倉 弘喜（国立情報学研究所）、徳田 圭（小樽市消防本部）、萩原 俊雄（さいたま市消防局）、姫野 智代（大分県）、丸田 伸彦（東京消防庁）、三木 浩平（総務省デジタル統括アドバイザー）

【オブザーバー】

川島 洋平（日立製作所）、河野 功大（沖電気工業）、木村 俊次（富士通 Japan）、河野 健人（富士通ゼネラル）、平口 隆志（全国消防長会）、牧 敦司（日本電気）、消防庁 救急企画室

4 配布資料

資料10-1：検討の全体像（振り返り）

資料10-2：消防指令システムの標準インターフェイスに関する検討状況

資料10-3：消防業務システムの標準化・クラウド活用に関する検討状況

資料10-4：消防指令システムの消防本部向け作成資料に関する検討状況

資料10-5：消防指令システムの情報セキュリティに関する検討状況

資料10-6：消防指令システムのデータ移行の円滑化に関する検討状況

資料10-7：消防指令システムに関する公開資料一覧資料10-8：公開資料の概要（消防指令システム関連）

資料10-9：消防業務システムに関する公開資料一覧

資料10-10：公開資料の概要（消防業務システム関連）

資料10-11から資料10-47：消防指令システムに関する公開資料（各資料名は資料10-7に記載） ※

資料10-48から資料10-56：消防業務システムに関する公開資料（各資料名は資料10-9に記載） ※

- 参考資料10-1：消防指令システムの高度化等に向けた検討会 構成員名簿  
参考資料10-2：消防指令システムの高度化等に向けた検討会（第9回）議事概要  
参考資料10-3：消防業務システムの標準化・クラウド活用に係るコスト分析結果 ※

※構成員限り資料

5 議事概要

1. 開会

2. 議事

(1) 検討の全体像（振り返り）

資料10-1に基づき事務局から説明が行われた。なお、特段の意見なし。

(2) 消防指令システムの標準インターフェイスに関する検討状況

資料10-2に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

委員：3つ補足説明させていただきたい。1つ目として、現在の自治体情報セキュリティクラウドは総務省自治行政局が作成した自治体向けのセキュリティガイドラインが基礎であるということ。思想としては、境界型防御という防御手段を取っている。これは自治体のITインフラ、情報インフラを取り扱う情報の重要度に応じていくつか分割をしている。例えば、あまり危険性のないものはインターネットを通じてやり取りをする、あるいはインターネット上のクラウドに置く。一方でより重要度の高いものについては、インターネットからある程度切り離れた形で、内部に保有しておくというものである。今回説明にあった自治体情報セキュリティクラウドというものは、近年のセキュリティインシデントの拡大に伴い、高性能かつ高価格の個別のセキュリティツールを備えている。そのようなツールを団体に個別整備すると非常に負担が大きい。そのため、都道府県単位でこれらのセキュリティツールをまとめる形で、自治体情報セキュリティクラウドという仕組みを作り、市町村は都道府県のセキュリティクラウドを通してインターネットにアクセスするという方法をとっている背景がある。2つ目として、消防本部のインターネット接続について、自治体情報セキュリティクラウドを利用すると、高度なツールをより廉価に利用できるというメリットがあるということ。3つ目として、今後、総務省のセキュリティガイドラインが境界型防御で維持されていくのかという点について、今後方針が変化する可能性があること。

今年の夏に自民党の政務調査会からデジタル大臣に対して、自治体におけるセキュリティの将来像について検討してほしいという要請がされており、現在、デジタル庁で検討会が立ち上がっている。検討会の名称は、国・地方ネットワークの将来像及び実現シナリオに関する検討会としており、その検討会の中では必ずしも現状の境界型防御にこだわらずに、新しいセキュリティの考え方を検討の対象にしていくという方針が示されている。今後デジタル庁で検討される。自治体における将来のセキュリティのあり方についても注視していく必要があると考えている。以上、3点補足情報として説明させていただいた。

座長：承知した。委員へ確認させていただきたい。自治体情報セキュリティクラウドは都道府県で整備するという話があったが、都道府県の下にある市区町村はその自治体情報セキュリティクラウドに接続できる認識か。

委員：ご認識のとおりである。現在全ての市町村が都道府県の自治体情報セキュリティクラウドを通して、インターネットにアクセスしている状態である。

座長：承知した。10月10日と10月11日に都道府県及び自治体情報セキュリティクラウド関係部署に対する説明会を実施したとあり、自治体等からの意見をいただいていると思うが、今回の検討に関し、今後の方向性に言及する意見や懸念等の意見はあったか。

事務局：説明会では非常に有意義なご意見を自治体の方々から頂戴した。例えば、自治体情報セキュリティクラウドは、基本的に昼の業務を対象としたシステム構成となっており、夜間にメンテナンスなどが入る可能性があるという声を頂いている。そのため、可用性について、丁寧に確認することと、コストについての実現可能性が十分にあるということ等を確認した上で検討を進めていきたい。また、それと並行して自治体情報セキュリティクラウドを利用しない接続方法についても検討していきたい。

座長：承知した。自治体情報セキュリティクラウドの使い方が従前と違ったものとなるため、様々な点に留意しながら検討を進めていただきたい。

### (3) 消防業務システムの標準化・クラウド活用に関する検討状況

資料10-3に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

委員：(11ページ) 消防本部とクラウド環境を結ぶネットワークについて、どのネットワークを選択候補とするかということについては、今後の検討次第である旨承知した。なお、回線がダウンした際のバックアップ回線があるか確認させていただきたい。

事務局：バックアップ回線は重要だと考えており、そういった面の検討を含めての実

証をさせていただく予定である。

座 長：関連した質問となる。(11 ページ) ネットワーク候補の選定についての考え方は分かるが、今回の実証にはガバメントクラウド接続サービスを使用するのか。それとも、それ以外のものを使用して比較するというのも実施するのか。

事 務 局：本年度のクラウド実証については、ガバメントクラウド接続サービス等の利用を想定し計画している。ガバメントクラウド接続サービスについては、デジタル庁とも調整中だが、利用に関し流動的な部分があるため、次期 LGWAN や閉域網を含め、幅広く検討していきたい。

座 長：承知した。どれが使用できるのか、どのような使い方をするのか等によって性能が変わる可能性があると思うので、うまく比較できるとよいと考えている。実際に一つひとつ実証を実施するとなると、多くの費用がかかってしまう可能性がある。うまく切り分け、特徴の違いを意識した実証にしていきたい。

事 務 局：承知した。ご指摘のとおり検討を進めていく。

委 員：消防本部とクラウド間を結ぶネットワーク構成について、北海道では消防本部によって、LGWAN が敷設されていない署所もあるため、ネットワークの回線候補を選定する際には、その点を含めた検討をしていただきたい。

事 務 局：承知した。各消防本部でネットワークの構成状況に違いがあるためそういった点に考慮しながら検討を進めていきたい。また、検討を進める上で引き続きご意見をいただきたい。

#### (4) 消防指令システムの消防本部向け作成資料に関する検討状況

資料 10-4 に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

座 長：今月末に作成資料を公開予定ということだが、消防庁ホームページでの公開となるか。

事 務 局：それぞれ文章によって性格が異なるため、消防本部や関係者の皆様に対しては、全て公開させていただくが、消防庁ホームページへの公開はそれを抜粋した形を予定している。

座 長：公開した資料群については、消防本部向けに一旦開示し、内容を見ていただくという部分が一番大きな目的であると考えてよいか。

事 務 局：仰るとおりである。

座 長：承知した。

(5) 消防指令システムの情報セキュリティに関する検討状況

資料 10-5 に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

座 長：こちらの検討に関する資料の公開予定時期は令和 6 年 3 月ということだが、現在は公開時期に向けて資料を作成している状態か。

事務局：ご認識のとおりである。本資料に関しては、作成中のものがあるため、令和 5 年 10 月時点での時点版の公開はなく、令和 6 年 3 月に公開する予定である。

座 長：承知した。

委員：他の委員からご説明があった、総務省のセキュリティガイドライン等が変更となると、こちらの資料についてもアップデートが必要になると想定されるため、適宜見直しをかけていただきたい。

事務局：承知した。ご指摘いただいたとおり、そういった点にも留意しながら取り組んでいきたい。

(6) 消防指令システムのデータ移行の円滑化に関する検討状況

資料 10-6 に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

座 長：こちらの検討については、指令システムベンダーにもご意見を伺いつつ内容を詰めている状況であるか。

事務局：ご認識のとおりで、指令システムベンダーの協力が不可欠である。現在、指令システムベンダーと連携しつつ作業を進めている。

座 長：承知した。現状何か課題などがあるか。

事務局：データ項目の統一など難しい面もあるが、指令システムベンダーと連携しつつ、最終的なランディングに向けて検討を進めていただきたい。

座 長：承知した。指令システムベンダーにとって、ベンダーロックインの解消という面で良い面と悪い面のある可能性があるため、うまく意見交換をして、消防本部にとって有益なものを作成していただきたい。

(7) 消防指令システムに関する公開資料

資料 10-7、10-8 に基づき事務局から説明が行われた。なお、特段の意見なし。

(8) 消防業務システムに関する公開資料

資料 10-9、10-10 に基づき事務局から説明が行われた。主な質疑・意見等は次のとおり。

座 長：消防業務システムに関し、本年度公開する標準仕様書の第1版は時点版のような位置付けで、半年から1年からほどかけて検討内容を反映していくという認識でよいか。

事務局：ご認識のとおりである。

座 長：承知した。

#### (9) その他

主な質疑・意見は次のとおり。

委 員：当消防共同指令センターでは、令和8年度の運用開始に向けた更新作業を現在行っている。問題として挙げられていることは場所の問題である。コンピュータが高性能化してだんだんと小さくなっている世の中に対し、指令台については、だんだんと大きくなっていることでスペースが必要となり、次に更新する際もこれ以上の拡張性が想定できない状況で対応をしている。その中でクラウド活用が進むと省スペース化が大きなメリットとして享受できると考えている。そのため、クラウド活用に関しては推進されると他の消防本部の共同化という意味で有意義ではないかと期待している。

座 長：消防庁からこの点についてご意見あるか。

事務局：クラウド活用を後押ししていただけるご発言は有難い。ご期待に添える形で検討を進めてまいりたい。

委 員：LGWANを敷設できていない消防本部がある旨ご説明したが、併せて自治体情報セキュリティクラウドの活用の議題がある。この活用についても、ネットワークの整備ができていない消防本部があると聞いているため、自治体情報セキュリティクラウドを活用しない方向性も合わせた検討を進めていただければお願いしたい。

座 長：消防庁からこの点についてご意見あるか。

事務局：ご意見の趣旨について十分理解した。全国の消防本部の皆様に喜んでいただけるような検討結果を出したいと考えているため、個別にご相談させていただくことがあると思うが、ご協力の程お願いしたい。

事務局：次回の第11回の高度化検討会の日程に関しては、別途日程調整の上改めてご連絡する。今回配布した標準仕様書等の資料については、ご覧いただいた上でご意見等がある場合は、10月27日までに事務局宛てにご連絡いただきたい。また、期日までに間に合わない場合についても個別で時期を問わずご連絡をい

ただきたい。最後に消防庁防災情報室長から皆様にご連絡事項がある。

防災情報室長：今回は中間とりまとめのイメージだが、一旦資料として皆様にご覧いただけるという状況になっている。今までのご協力に大変感謝している。今後、指令システムの更新を控えている消防本部が多い中で、第一案のような資料ではあるが、参考にしていただき、ぜひ、標準 IF 等の導入について検討していただきたいと考えている。

### 3. 閉会

以上